

湊若越

～港の元気は福井の元気、地元の貨物は地元の港から～



[2018年 秋 Vol.53]

目次

- ・国際物流ターミナル拡張事業が進捗 **P 1**
- ・福井県内学生向け見学会・意見交換会
- ・優良工事等表彰式、建設技能者表彰式 **P 2**
- ・福井港 坂井市防災訓練 & 「白山」一般公開 **P 3**
- ・クルーズ客船「ばしふいつくびいなす」船内見学会
- ・シリーズみなとの祭り スーパー大火勢 **P 4**

◆敦賀港（鞠山南地区）国際物流ターミナル拡張事業が進捗

下の写真はFDから引出したケーソンを、起重機船で仮置場所に曳航している様子です。

ケーソンは、防波堤背後の静穏な場所に仮置きされ、岸壁として据え付けられる日を待ちます。



敦賀港では、環境への影響やドライバー不足で進むモーダルシフトによる内航フェリー航路・内航RORO航路の貨物増加、またバイオマス発電の燃料となる木質チップの輸入により、背後用地不足や混雑が日常的に生じて課題となっており、その解決のため、鞠山南地区の水深14m岸壁の延伸及びふ頭用地の拡張事業を実施中です。

9月8日（土）、本事業の岸壁延伸部分の本体となるケーソンの進水仮置を行いました。これは蓬萊・桜岸壁のFD※上で製作したケーソン2函を、鞠山北防波堤背後に仮置くものです。

岸壁の早期供用に向け、今後様々な工事が本格化しますが、引き続き安全に留意し、事業を進めていきます。



製作中のケーソン（2,137t/函、B12.9m×L15.0m×H15.5m）



仮置き作業完了後の状況

※ FD：フローティングドック（Floating Dock）の略

◆建設業の魅力発信！福井県内学生向け見学会等を実施

8月6日(月)に敦賀きらめきみなと館を主会場に、現場見学会及び意見交換会を実施しました。

この催しは、建設業への就職を目指している技術系の学生に、建設業の魅力を伝え、将来の担い手になって貰うことを念頭に毎年開催しているもので、これまでは福井港海岸の工事を見てもらっていましたが、今年は初めて敦賀港で開催しました。

見学会には、福井大学、福井工業大学及び福井高専の学生105名が参加し、「港湾の建設現場」や「港湾の利用状況」を見学した後、実際に敦賀港の港湾建設に携わっているコーディネーターを囲んだ意見交換会を行いました。

意見交換会では、関心のある業務の内容や仕事のやりがい、転勤や休暇の状況などについて、コーディネーターに熱心に質問していました。実際にそれぞれの職場で働いている人の話を聞けるとあって、事後アンケートでも「就職を考える上で参考になった」「後輩のためにも今後も続けてほしい」などのうれしい意見が多数寄せられました。

将来の担い手を確保していくためにも、今後もこうした現場見学会、意見交換会の場を提供し、建設業の魅力を発信していきます。



鞠山南国際物流ターミナルでコンテナの取扱いを見学



ケーソン製作工事の現場を見学②



ケーソン製作工事の現場を見学②



コーディネーターを公務員、土木、建築、コンサルタント、女性技術者の分野別に構成・配置することで、学生は関心のある分野を選択して参加することができます。(写真は女性技術者のテーブル)

◆平成30年 優良工事等表彰式、建設技能者表彰を開催

7月30日(月)、敦賀港湾事務所で「平成30年度事務所長表彰伝達式」を執り行いました。

これは、良質な社会資本整備、建設技術の向上及び円滑に事業を推進するために、所管する工事及び委託業務等について、その施工又は成果が優秀で他の模範となる者を表彰するものです。

なお、特に優秀な者は局長表彰として7月20日(金)に北陸地方整備局で表彰式が行われ、敦賀港関連で工事と業務が一件ずつ選定されました。

良質な社会資本整備、建設技術の向上に向け、業界を牽引して頂く事を期待します。



事務所長表彰式の様子

【局長表彰】

○優良工事及び優良業務

- ・敦賀港(鞠山北地区)防波堤改良工事・・・(株)半澤組
- ・福井港海岸(福井地区)深浅測量、水路測量及び構造物調査・・・三洋テクノマリン(株)

【事務所長表彰】

○優良建設技術者

- ・三洋テクノマリン(株) 立石賢吾氏 (管理技術者)
[業務名: 福井港海岸(福井地区)深浅測量、水路測量及び構造物調査]

○建設技能者

- ・(株)タカダ 山口義治氏 (とび工)
[工事名: 福井港海岸(福井地区)離岸堤築造工事]

◆ 福井港で坂井市防災訓練（福井港緊急支援物資輸送等訓練） 及び 大型浚渫兼油回収船「白山」の一般公開が行われました！

9月2日（日）に地震による津波災害を想定した緊急支援物資輸送等訓練が福井港を会場に行われました。

同訓練には、大規模地震・津波災害に備え、関係機関との連携強化と災害対応能力の向上させる事を目的に、坂井市、北陸地方整備局、近畿地方整備局、海上保安部、福井県、消防、警察など12の機関・団体、約200名が参加しました。



洋上の流出重油を回収する「白山」による
流出重油回収訓練



坂本憲男坂井市長 主催者挨拶



稲田朋美 衆議院議員 来賓挨拶



国土交通省 浅輪宇充 技術参事官 挨拶

訓練の想定

- 坂井市で震度6強の地震を観測し、8mを超える大津波が発生。
- 津波により福井港沖を航行中のタンカーが転覆し、海上に重油が流出、沿岸に漂着する恐れあり。
- ふ頭など港内に瓦礫が錯乱し港湾施設が被災。また、道路が寸断し、沿岸部に孤立集落あり。

北陸地方整備局からは、大型浚渫兼油回収船「白山」の両舷に設置された油回収装置による流出油回収訓練、また、緊急支援物資輸送訓練として、白山の飲料水を給水車に給水する給水訓練や船員らがバケツリレー方式で支援物資を輸送トラックに積み込む支援物資輸送訓練等を行い、一連の手順を確認しました。

■人命救助訓練等



水難救助訓練

■初動対応訓練



岸壁の使用可否を判断するテックフォースの
「岸壁調査等」



緊急通行車両の通行を確保する道路
啓開訓練

■緊急支援物資積卸訓練



人力による緊急支援物資積卸訓練



「白山」から給水車へ給水訓練

また、防災訓練終了後には、大型浚渫兼油回収船「白山」の一般公開が行われ、「白山」を一目見ようと約150名が乗船され、真剣に船内説明に聞き入っていました。



乗船された方には、白山乗組員が丁寧に各設備
の説明を行いました。



大型浚渫兼油回収船配備の契機となったナホトカ号
油流出事故のパネル展示



赤い部分が水底の土砂を吸い込むホース部
分です。近くで見るとほんとに大きい！！

◆クルーズ客船「ばしふいっくびいなす」の船内見学会に参加しました！

9月19日（水）、新日本海フェリーの敦賀フェリーターミナルで開催されたクルーズ客船「ばしふいっくびいなす」の船内見学会へ行ってきました。

今年で就航20周年を迎える「ばしふいっくびいなす」ですが、それを感じさせないほど船内は装飾が華やかで、まさに動く高級ホテルといった印象を受けました。

特に10階にあるロイヤルスイートは大変広く、大きな窓からの眺望（バスルームもガラス張り！）に旅行している気分になってワクワクしてしまいました。

「ばしふいっくびいなす」は各地へ寄港する楽しみがあることは勿論、常にイベントやステージショーが行われており、食事も1日に計8回用意されているなど全部体験しようとすると忙しくなる程楽しい企画が満載だそうです。

豪華客船でのクルーズ旅は高額なイメージですが、移動・宿泊・食事・エンターテインメントの費用が全て含まれていると考えられるとお得かもしれません。

電車や飛行機も良いですが、海の上の優雅な船旅も魅力的に感じた1日でした。



【ばしふいっくびいなす】
長さ：183m、高さ：39m
総トン数：26,594トン
旅客定員：620名、客室：238室



ロイヤルスイートの客室



船内にある映画館
タイタニックは上映しないそうです



シャンデリアが輝く豪華な船内



見学会では船内ショップでのお買い物も

おおがせ 祭 シリーズみなとの祭り3 和田港（尾内地区） スーパー大火勢 祭

本シリーズの第三弾は、和田港（尾内地区）うみんぴあ大飯、悠久の炎が廻る「スーパー大火勢」の紹介です。



↑スーパー大火勢 高さ20m重さ1t
写真下側の若衆は熱さも火の粉も何のその！



太鼓演奏は
豪壮優美→
こちらも盛り上がり！



←若衆入場
夕暮れの中緊張の面持ち
の若衆(赤法被)

祭りの舞台、和田港（尾内地区）うみんぴあ大飯は、若狭地方の自然と歴史を背景に「和田港コースタルリゾート構想」を受け、通年型観光施設「わかさ大飯マリンワールド」（愛称：うみんぴあ大飯）として、福井県やおおい町などが整備したみなとオアシスの施設群エリアです。

「大火勢」はおおい町各地に今も残る豪壮な火祭り、火災鎮護と五穀豊穡を祈願。高さ14mもの大松明が山頂で乱舞する300年の伝統を持ち、おおい町の夏の風物詩として多くの町民に愛され受け継がれています。「大火勢」でまちおこしをしようと、高さ20m重さ1tにスケールアップし「スーパー大火勢」は24年前に誕生し55,000人が来場する和田港を熱く賑わせるビッグイベントとして定着しています。

祭りのハイライトはなんと言っても、悠久の炎が廻る「スーパー大火勢」です。廻し役の若衆が火の粉を浴びながら疾走する姿は迫力満点でまさに息を飲む光景です。燃え尽きた「スーパー大火勢」が倒れると祭りのフィナーレを飾る花火が始まり、煌びやかな光と音は悠久の炎とともに人々の記憶を刻みながら和田港の天空を満たします。

今年は好天に恵まれ、夕闇が刻々と濃くなる荘厳な雰囲気の下で若衆入場から炎が漆黒の星空を焦がす「スーパー大火勢」、また沢山の夜店が賑わいに一役買い、多くの老若男女がみなとで祭りを楽しんでいました。秋には国体・障スポ2018in福井が開催されます。和田港ではセーリング・トライアスロンなど海辺での競技が各種行われます。こちらもご注目ください。

☆★ うみんぴあ大飯は、みなとオアシス以外に道の駅、海の駅に登録され、ホテル・パールのほかH.C.、D.S.などが立地。観光船ターミナルからは青戸クルージングが楽しめる舞鶴若狭自動車道小浜西・大飯高浜各ICより車で10-20分 J R小浜線若狭本郷駅利用が便利

From
Editors

●発行
国土交通省 北陸地方整備局 敦賀港湾事務所
HP : <http://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp/>

〒914-0065
福井県敦賀市松栄町7番28号 敦賀地方合同庁舎3階
TEL : 0770-22-2590
FAX : 0770-21-8101

※当事務所の福井港分室は、福井港海岸直轄海岸保全施設整備事業の完了に伴い、平成30年3月末日をもって閉庁いたしました。

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル
大いに 良くなれ みなと
0120-497-370
※海やみなとに関するご意見、ご感想をお寄せください。

